

20代、30代、40代でやめるべきこと



だいがくそつぎょうご かいしゃ はい しごと はじ いま すこ ちが
大学卒業後、会社に入って仕事を始めると今までとは少し違う
たいど
態度をとらなければなりません。かいしゃ る る まな まも
会社のルールやマナーも守らなけれ
ばなりません。そこで、こんかい だい だい だい
今回は20代、30代、40代でやめるべきことをご
しょうかい おも
紹介したいと思います。

<20代でやめること>

会社では普段使っている言葉を尊敬語や謙譲語に変えなければなりません。

ですから、高校時代や大学時代に使っていたギャル言葉はやめなければなりません。きちんと話すことができないと会社の人や取引先の人からよく思われないかもしれません。

その他にも就職をしたら、相手に伝わらない文字も変えなければなりません。汚い文字を使うと悪い印象を残す可能性があります。先輩や社長と話す時も友達と話すときと同じ態度をとってはいけません。2

0代前半だからといってあまえてはいけません。甘えが習慣になっては一生自分が損をするだけで、早いうちから直すことが必要です。特に女性は若さや女性だからということを利用するのではなく、社会で認められる知識や技術を磨くことが大切だと思います。若い時は早く昇進することを目標としてよく自分のためだけに仕事をしているような

態度をとっていることが多いように思われますが、それも変えたほうが

いいと私は思います。そして、若い時から後輩や部下の手本となれる

存在を目指すことが最適だと思います。嫌なことがあれば愚痴を言ったり、

逃げたりしないで、がんばって同じ間違いをしないことが大切だと思います。

異業種を転々とすることも採用する会社にとってはあまりよ

くない印象を与える恐れがあります。30代で方向性を定めるためにも、

異業種への転職を繰り返すのは20代までにしたほうがいいと思います。

<30代でやめること>

三十代になると新しく入る会社員の先輩となるため仕事では常に先輩らしい態度をとらなければなりません。三十代の方は仕事と家族の両立をしなければなりません。ですから、二十代と違って自由時間があまりないためいらいらしがちであることが増えます。会社でも責任が重い仕事をまかされることが多いです。若い人からはたよりにされて、それと同時に、40～50代から頼られる手助け役になることも多いです。30代にもなると、自分の得意なものを見極めて専門性を高めることがとても大事だと思います。そして、職を転々とすることをやめてキャリアをのばすことに専念したほうがいいと思います。あれもこれもと欲張ると、どれも中途半端になってしまいます。もう一つ自分を大きく見せようとして見栄を張ることが多く、そしてプライドが高い30代ですが、これにも気をつけて先輩や後輩と接していけば、気が楽になって、仕事が充実できることでしょう。

<40代でやめること>

責任ある仕事が増える40代ですが、体力的な無理は禁物。20～30代と同じ量をこなそうとせず、上手に割り振って人を育てましょう。後輩や部下の指導では、自分と同じやり方や経験を要求してしまいがちだが、厳しくしすぎるのは会社内での不陰気を壊すだけ。職場で孤立しないよう、普段から良好なネットワークを築いておくことも大切。役職や後輩育成から逃げることや仕事を抱え込むこと。そし

て、20代と張り合うことをやめて、40代なりの魅力と先輩振りを
いかして仕事をすれば、きっと後輩からも好かれて頼りにされるはず
です。

30代と同じく責任ある仕事を任される時期ですが、これも後輩に任
せれば大丈夫。

質問

1. 20代でやめたほうがいいことは何ですか。
2. 30代でやめたほうがいいことは何ですか。
3. 40代でやめたほうがいいことは何ですか。
4. あなたの会社ではルールがありますか。
5. あなたはどんなことをやめたいですか。